

このコーナーでは、都産技研の研究員をクローズアップしてご紹介します。研究員の人となり分かることで、より都産技研を身近に感じていただきたいという思いから生まれました。どんな人が都産技研にいるのか、ぜひご覧ください。

量子ドットで未来を創りだす!

今回ご紹介するのは、材料技術グループの渡辺 洋人さんです。“量子ドット”の研究を行う渡辺さんは入所7年目。さまざまなものからヒントを得て、新たな材料の開発に向けて研究を行っています。

●主な仕事内容は?

1~サブナノメートルまで微細化された粒子である“量子ドット”の開発を行っています。さまざまな物質は、1 nm以下まで微細化すると、がらりと性質を変えます。この特性を研究し、光触媒などを中心に、身の回りで役立つさまざまな機能性材料を開発しています。

●渡辺さんが日頃心がけていることは?

新しい研究を進めるためには、広い範囲の知識やアイデアが必要になります。学会や論文を通じて、最新の材料研究の動向を掴むのはもちろん、ときには生き物の仕組みや設計思想なども理解して取り入れ、材料開発のお手本とすることも大切だと考えています。

Introduction



本部
材料技術グループ
副主任研究員
渡辺 洋人

わくわくするような材料開発を

材料化学の研究は、一見すると地味に見えますが、宇宙のしくみをひも解きながら人に役立つものづくりができるとてもエキサイティングな分野です。これからも、見た人がわくわくするような新しい発見や材料の開発を続けていきたいと考えています。

お問い合わせ 材料技術グループ<本部> TEL 03-5530-2646

TOPICS

トピックス

自衛消防審査会への参加

深川消防署主催の自衛消防技術審査会が9月11日(木)に東京臨海広域防災公園で開催されました。



大雨の中、日頃の訓練の成果を披露する自衛消防隊員

都産技研では本年も若手職員3名による消防隊を結成し、1号消火栓一般事業所隊の部に参加しました。当日は激しく雨が降る悪天候でしたが、3名は全身ずぶ濡れになりながらも練習の成果を見事に発揮し、敢闘賞を受賞しました。

今後も、お客さまが安心して都産技研をご利用いただけるよう、防災訓練や消防訓練を実施し、災害対応力の向上に努めていきます。

参加メンバーは以下のとおりです。

- 指揮者: 肥澤 拓也(機械技術グループ)
- 1番隊員: 北田 宗一郎(環境安全管理室)
- 2番隊員: 瀧本 悠貴(バイオ応用技術グループ)



生活技術開発セクターの菅谷 紘子が日本繊維製品消費科学会2014年度年次大会口頭発表において、若手優秀発表賞を受賞しました。

生活技術開発セクター 菅谷 紘子

受賞名 若手優秀発表賞
発表題目 動的衣服圧測定のための柔らかなダミーの開発
表彰団体 一般社団法人日本繊維製品消費科学会
受賞日 平成26年6月28日



発行日/平成26年9月25日(毎月1回発行)
発行/地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター
経営企画部 広報室
〒135-0064 東京都江東区青海2-4-10
TEL 03-5530-2521
編集・印刷/ニッセイエプロ株式会社
(転載・複製をする場合は、広報室までご連絡ください。)



石油系溶剤を含まないインキを使用しています。 古紙配給率100%再生紙を使用しています

